

挑戦でした。大阪市には「基準は満たしているが、前例がない」となかなか認めてもらえませんでした。思いを伝え続け、ついに指定を取得しました。さらに建物の2階から6階が駐車場だったためタイムズを導入し、安定収益も確保。就労支援では暗い倉庫ではなく明るい場所で働ける環境をつくり、花の仕事も取り入れています。利用者の賃金も定められた額より高めに設定し、「働く喜び」を実感してもらえるようにしています。私の願いは、福祉の暗いイメージを終わらせること。本人も家族も胸を張って通える明るい福祉

へ。子どもから大人まで、ずっと同じ場所で安心して過ごせる環境を全国に広げたい。どこに住んでも救われる家族が増える社会をつくりたい。息子がくれた経験、苦労、涙。その全部が私の原動力です。私は福祉の世界に希望の「帆」を立て、未来を必ず変えていきたいと思っています。



12月 会員誕生日 おめでとうございます

12月 5日	森田 納会員	12月 5日	前田文恵会員
12月 8日	吉田啓介会員	12月10日	内園彰人会員
12月17日	奥村公一会員	12月18日	井上満昭会員
12月23日	中川静夫会員	12月27日	河内 理会員

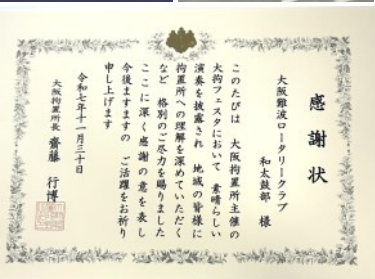
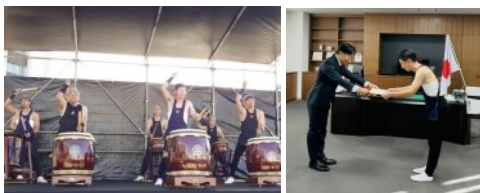
◆本日の卓話者◆ 城谷 淳史 (じょうたに あつし) 氏 JEBPARK代表

大阪を拠点にホームページ制作・商店街支援・AI活用研修を手がける。地域密着型の企画やイベント運営に強みを持ち、商店街のDX推進や集客支援を多数担当。セミナー講師としても活動し、ChatGPT活用やSNS戦略をわかりやすく伝えることを得意としている。

和太鼓部活動報告

11月30日(日)大阪拘置所にて開催された「大阪拘置所フェスタ」に、『大阪難波ロータリークラブ和太鼓部』として出演しました。この度、和太鼓部8名で参加させていただきました。ステージでは多くの出演者がいる中で、トリを務めさせていただき和太鼓の演奏を4曲披露いたしました。

毎年、西川きよしさま、月亭八方さまと出演させていただいております大阪拘置所への慰問活動とは異なり、当イベントは地域社会との交流を目的として実施され、当クラブ和太鼓部としても奉仕活動の一環として参加させていただきました。会場には多くの来場者が訪れ、和太鼓部の力強い演奏に大きな拍手をいただくことができました。演奏を通じて、音楽が持つ力や人と人をつなぐ温かさを改めて実感する貴重な機会となりました。今後も地域に根差した活動を引き続き展開してまいります。この度の出演に関してご協力いただいた谷口先生、そして当日応援にお越しくださった皆さまに、心より御礼申し上げます。 文責：日高雅哉



12月11日は
クリスマス家族会です
お昼の例会は
ありません



これからの予定

12月 6日 (土) 第2回プレPELS (会長エレクトラニングセミナー) ZOOM	
12月11日 (木) 夜間例会・クリスマス家族会	12月18日 (木) 例会
12月18日 (木) 大阪難波RACクリスマス忘年会例会	
12月20日 (土) 大阪南RC年末懇親会	12月25日 (木) 休会
1月 1日 (木・祝) 休会	1月 8日 (木) 新年互例会・定例理事会

WEEKLY BULLETIN

OSAKA NAMBA

大阪難波ロータリークラブ週報

よいことの
ために
手を取りあおう



2025-2026年度 国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレッツォ
会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」
(第2660地区ガバナー 吉川 健之)

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー4つのテスト
12月4日(木) テーマ 「自己紹介」 「スマホを使ったAIの活用」 卓話者 城谷淳史 様 卓話担当者 千田忠司会員	12月11日(木) クリスマス家族会 受付開始17時 例会 17時30分 開宴 18時	言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第20回例会 本日のプログラム

開 会 (点鐘)	通算第2296回例会
・国 歌	「君が代」
・ロータリーソング	「奉仕の理想」
・歌	岡本優香さん
・ピアノ	倉田葉名さん 高山理帆さん(交替制)
・来客紹介	友好委員

会 食

・会長報告	立花英司会長
・幹事報告	清水一人幹事
・委員会報告	各委員長
・出席報告	出席委員
・ニコニコ箱報告	S A A
・卓話	

閉 会 (点鐘)

大阪難波ロータリークラブ	例会日時 毎週木曜日 12:30
創立 1976年8月5日	例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間
会長：立花英司 幹事：清水一人	会報・雑誌委員長：大塚哲平 事務局：安部亜希子
事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60	スイスホテル南海大阪5階
TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957	e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

♪ 奉 仕 の 理 想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永遠に栄えよ 我等のロータリー
ロータリー

ニコニコ箱報告

前 回 の 合 計	¥ 1 1 5 , 0 0 0
本日までの累計	¥ 2 , 4 2 1 , 0 0 0 (112%達成)
11月末の予算額	¥ 2 , 1 6 0 , 0 0 0

出 席 報 告

前回 11月27日	3週前 11月6日
会 員 総 数 8 2 名	出席免除を除く MUを含む 修正出席率81.08%
出 席 会 員 数 5 6 名	
出 席 率 7 2 %	

12月は「疾病予防と治療月間」です

前回の記録 第19回 11月27日（木）

★来客紹介：人見友好委員

ゲストスピーカー
大谷美都帆様



★会長報告：立花会長

- 先週の例会終了後ロータリーを知りましょう会が開催されました。ご参加して頂いた皆様お疲れ様でした。今回の知りましょう会では、夏元会長からは、マナーとモラルの重要性と言う事でロータリークラブの会員は一般社会人よりも高い水準で行動範囲が求められる。といった話を中心にハラスメントへの注意、そして会員増強と規制緩和の話をされました。また久保会員からは、規定審議会の主な変更点を話され職業分類の撤廃、会員の多様性、入会制限の緩和などの説明をしていただきました。最後に林元会長からは、50周年記念事業について過去の周年事業の説明と50周年記念式典の予定と記念事業の計画が説明されました。3人の皆様大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 先週はDテーブルの懇親会に参加させて頂きました。懇親会の意見交換では、ロータリーに入会して良かった事は？と言った話があり、多くの意見で異業種の素晴らしい多くの経営者と知り合い相談に乗ってもらったり、助けてもらった事などのお話を聞かせて頂きました。そんな仲間に出会えて一緒に親睦をはかりながら奉仕活動ができる事がロータリーの良いところだなと感じました。Dテーブルの皆さん本当に楽しい懇親会、有難うございました。
- 最後にロータリーの一言をお伝えします。ロータリーの原点は、信頼できる仲間と出会いたいと言う思いから始まりました。職業も違えば、生き方も違う。でも同じ志を持つ仲間が集まればそこに信頼が生まれます。本日の一言は、「信頼は、志を共にするところから始まる」です。

★幹事報告：清水幹事

- 来週例会終了後、年次総会を開催させていただきますので少しお残りください。またその後、定例理事会を開催させていただきますので理事役員の方はご出席ください。
- 11月29日は地区大会です。会場参加の方は名札をもってご出席ください。オンライン参加の方は、先週入れさせていただいております地区大会のご案内にURLまたはQRコードが掲載されていますので、読み取って下さい。注意事項も書かれていますので、ご一読ください。

- スイスホテルの駐車場精算方法が変更になります。お知らせを入れておりますのでご確認ください。

★委員会報告

◇友好委員会：赤坂委員長

クリスマス家族会について、本日出欠の締め切りとなります。また、抽選会のプレゼント受け付けておりますのでよろしくお願いいたします。

◇国際奉仕委員会及び50周年実行委員会：福田委員

11月23日（日）～26日（水）フィリピンセブ島の小学校3校への寄付と訪問について

★ニコニコ箱報告：田中副SAA

立花英司：先週Dテーブル懇親会、お世話になりました。ありがとうございました。

清水一人：セブ島奉仕活動、お疲れ様でした。立花会長、岡西元会長、お心づけありがとうございました。

大地庸元：入会記念日、自祝。

夏 明義：先週のロータリーを知りましょう会、例会の後にもかかわらず、多数出席いただきありがとうございました。

岡西豊博：フィリピンセブ島小学校への奉仕活動、参加された皆さまお疲れ様でした。感謝。

西原義博：入会記念日、自祝。

川口栄計：セブ国際奉仕50周年事業参加の皆さま、お疲れ様でした。

福田 忠：フィリピンセブ島の小学校への訪問、ご参加の皆さまお疲れ様でした。3校とも寄贈式では大変喜んでいただきました。立花会長、岡西元会長にはお心遣いを頂き誠にありがとうございました。

久保幸一：セブ島3校への奉仕ありがとうございました。立花会長、岡西元会長、お心遣いありがとうございました。

網干康史：例会欠席、お詫び。

米澤 勉：セブ島奉仕活動では、立花会長、岡西元会長、お心づけに感謝。皆様大変お世話になりました。

松田禎胤：セブ島への奉仕活動にご参加された皆様、大変お疲れ様でした。立花会長、岡西元会長、お心遣いありがとうございました。

森田 納：立花会長、岡西元会長、差し入れお菓子ありがとうございました。川口元会長タクシー有難うございました。

三島敏宏：和太鼓部の皆さま、大和育成園お疲れ様でした。知りましょう会では勉強さ

せていただきました。夏元会長、有難うございました。

中井政嗣：欠席、お詫び。

山川正時：F・Gテーブル懇親会、ご参加いただきました皆様、有難うございました。清水幹事差し入れありがとうございます。

河内 理：セブ島奉仕活動では、立花会長、岡西元会長、お心づけを頂きありがとうございました。大変貴重な経験をさせていただきました。

松井 潤：欠席お詫び。

藤井圭一郎：先日のテーブル懇親会、お疲れ様でした。立花会長、清水幹事、ご参加くださいましてありがとうございます。差し入れも感謝いたします。

内園彰人：セブ島奉仕活動、立花会長、岡西元会長、お心づけありがとうございます。また、現地では色々とお世話になりました。重ねてありがとうございます。

田中浩弥：セブ島での奉仕、お疲れ様でした。とても貴重な経験と学びがありました。立花会長、岡西元会長、お心づけありがとうございました。

★大阪難波RACへのニコニコ箱報告

清水一人：大和育成園お疲れ様でした。

三島敏宏：大和育成園お疲れ様でした。

累計¥154,000

★卓話

テーマ 「花と福祉と文化」

卓話者 株式会社ヴェーラ

大谷美都帆様

卓話担当者 秋田祐作会員

今日は「花と福祉と文化」というテーマでお話しさせていただきます。新入会員の方もおられますので、自己紹介をさせていただきます。祖父が日本橋・恵美須町でござを敷いて花を売っていたのが始まりで、商店街を経て僕で三代目になります。ただ、最初から花屋として働いていたわけではありません。若い頃は大阪の帝国ホテルでブライダルカメラマンやプランナーとして6年ほど働いていました。父の体調不良を機に花屋に戻りましたが、店頭を美しく保つために毎日のように花を捨てることにどうしても違和感があり、「花を置かない花屋」というスタイルに切り替え、ご注文いただいた分だけ仕入れて届ける形にしました。ロスも減り、お客様にも新鮮な花をお届けできるようになり、今は守口と平野でその形を続けています。

僕の価値観を大きく変えたのは、16歳の時のバイク事故でした。滋賀県で事故に遭い、右足がちぎれかけ、本来なら義足になるはずの状況でしたが、大阪・都島の医療センターで中尾先生に手術していただき、足を残すことができました。長い

リハビリを経て、今では走ったり、ゴルフ、野球、和太鼓ができるほどになっています。数年後、帝国ホテルでカメラマンとして新郎新婦に挨拶をした際、新郎の名字が「中尾」。まさかと思って尋ねると、あの時の先生でした。ご縁に感謝し、できることをしたいと思い、自身の負担で写真を撮らせて欲しいと責任者に頼みましたが、「それよりも人をたくさんつけるからよい写真を撮ってあげなさい」と言われたことも思い出です。後日たくさんの写真をご注文いただきましたが、それ以上に、ご縁を大切にするとちゃんと返ってくるのだと実感できた出来事でした。こうした経験は、花と福祉をつなぐ今の取り組みにもつながっています。体の不自由な子どもは、自分の気持ちや性格をうまく表現することが難しく、親御さんも気づいてあげられない部分があります。花のアレンジをつくってもらうことで、その子の性格や内面が作品に表れ、親御さんが「こんな一面があるんだ」と気づくきっかけになります。就労支援の現場でも、利用者同士が作品を交換し合ってお互いの良いところを一言ずつ伝えると、普段叱られることの多い子たちが笑顔になる。花には人の心を動かし、人と人をやさしくつなぐ力があると感じています。

こうして花を通した活動を続けるうちに、福祉の世界でも何か僕にできることがあるのではと考えるようになりました。そこで今日は、福祉の現場でも一緒にさせていただいた大谷さんにお越しいただいています。ここからは「福祉」についてお話ししたいと思っています。

はじめまして、大谷美都帆と申します。秋田さんとは「お花」を通じてつながり、今日は福祉の現場についてお話しさせていただきます。皆さんは福祉と聞いて、どんなイメージを持ちますか？ 暗い、古い、閉鎖的……そんなイメージがある方が多いと思いますが、実際その通りです。私は3人の子どもを育てるシングルマザーで、一番下の息子には重い障害があります。道路に飛び出す、スーパーで勝手に封を開けて食べてしまう、集団行動ができない。どんなデイスサービスに預けても断られ、「本来一番支援が必要な子が受け入れられない」という現実は何度も心が折れそうになりました。そんな時、職場の仲間から「大谷さん、お母さんたちの気持ちが一番わかるあなたがデイスサービスを作ったら？」と言われ、その言葉で覚悟が決まりました。「やるなら本気でいいものを」と決意し、株式会社ヴェーラを立ち上げました。物件探しの中で出会ったのがパチンコ店の居抜き物件。他の物件も見ましたが、考えれば考えるほど「子どもも大人も、場所も職員も変わらず、環境に敏感な人でも安心できる場所が作れる」と気づきました。児童発達支援、重度障害児の放課後等デイ、生活介護、就労継続支援B型、ショートステイ 5つをワンフロアで実現する前例のない

Dテーブル懇親会議事録

開催日時：2025年11月20日 18時～

開催場所：熟成ステーキ 本店

出席者：立花会長、千田会員、岡西会員、鉄崎会員、早栗会員、宮本会員、前田会員、
菊川会員、井原会員、西村会員、石井会員

本日のDテーブル懇親会では、「先輩会員：ロータリーに入って良かったこと」
「新入会員：ロータリーに期待していること」の2つをテーマに意見交換が行われた。

まず先輩会員からは、ロータリーで得られた学びや人とのつながりの価値が語られた。早栗様は、ロータリーを“人生の道場”と表現され、人間として大きく成長できる場であると述べられた。鉄崎様は、会長を務めた経験そのものが生涯の財産であると振り返られた。宮本様は、ネクタイを締める習慣や家族を祝っていただける文化、他業種との交流を通じた自己成長が得られたことを強調された。前田様は、世代の枠を超えた先輩方の話に刺激を受け、「現状に満足せず成長し続けたい」と前向きな姿勢を共有された。

一方、新入会員からは、今後に向けた期待が語られた。西村様は「まだ分からないことが多い」と前置きしつつ、他の会との比較も含め、学びの機会が多いことへの期待を述べられた。石井様は、人と話すことが得意ではないからこそ、ロータリーでの交流を通じて自分を広げたいという意欲が示された。千田様は1994年の社長就任以来のさまざまな出来事の中で築かれた人とのつながりを振り返り、今後も紹介を通じてロータリアンを増やしていきたいと語られた。

また、本日は会の開催に際し、立花会長よりシャンパン2本、清水幹事よりワイン2本をご提供いただき、会の雰囲気をより華やかに彩っていただいた。

本懇親会を通じ、ロータリーの価値である「人間的成長」「仲間とのつながり」「社会との関わり」が改めて共有され、世代を超えて学び合う有意義な時間となった。



会長経験者会議事録

2025年11月27日（木）18時より西野屋さんにて会長経験者会を開催させていただきました。山田元会長、北田元会長、夏元会長、白野元会長、伴井元会長、西野元会長、岡西元会長、西原元会長、林元会長、松浦直前会長、森田会長エレクト、立花計12名で行いました。山田元会長の乾杯で始まり、今後の難波ロータリーが発展して行くには時代の流れと共にどのように改善して行けばいいか等の意見交換が行われました。会員増強、会員選考、マナー、モラルの重要などの話があり、その中でマナー、モラルの重要性については、例会や行事等での私語について注意喚起をどうすればよいか？についての意見交換があり、例会中での報告最中の私語等の注意を促すにはSAAが注意事項としてアナウンスをし、それに加えテーブルマスターは入会10年以上のベテラン会員が担当し、テーブルマスター会議を行い各テーブルで注意喚起を行えばいいのではないか、などの意見がありました。

林元会長から50周年記念式典、記念行事の内容、予算についての中間報告があり、記念式典の方はほぼ固まってきているが記念行事の方はまだ予算が流動的で金額次第で内容を検討する事が必要との事。例会で皆さんに現在の中間報告を行う、との話がありました。

沢山のご意見ありがとうございました。 文責：立花英司

2025-2026年度 国際ロータリー第2660地区 地区大会

11月29日(土)地区大会がホテル阪急インターナショナルにて開催されました。今年度は会場参加とオンライン配信にて開催されました。交流事業表彰式にて、ガバナー杯野球大会「3位」として大阪難波ロータリークラブが表彰されました。野球同好会の皆様、本当におめでとうございます！今回は、じゃんけんで見事3位に導いてくださった 林元会長を差し置き、代表して壇上に上がらせていただきました。大変恐縮です…が、しっかり賞状だけは持ち帰らせていただきました。来年も表彰式があるのかどうかは…？

ですが、大阪難波ロータリークラブらしく、怪我なく、ワイワイ楽しみながら、勝利を狙いにいきたいと思います。また、晩餐会にもご参加された皆さま、ありがとうございました。

文責：大塚哲平



ガバナー杯野球大会「3位」表彰

晩餐会ご出席の会員各位

Eテーブル懇親会 議事録

開催日時：2025年11月13日 18時～

開催場所：りき六

出席者：立花会長、清水幹事、大地会員、林会員、網干会員、服部会員、藤井会員

テーマ：ロータリーについてのご意見

懇親会では、大地会員にご紹介いただいたお店で会員増強やクラブ運営に関する率直な意見交換も行いました。会員数の拡大に対する難しさや、クラブ文化の継承、入会者の育成のあり方など、多角的な視点からご意見をいただきました。

■ 会員増強に関する意見

- ・増強に正解はないため難しい。他クラブも同様に苦戦している。
- ・急激に増やすと歪みが出る。着実に増やしていくのが良いのでは。
- ・会長任期の数字として残るが、人数だけが評価ではない。
- ・手を緩めるべきではないが、数字としては減っているわけではない。

■ 入会者フォローと育成の課題

- ・入会させた後の面倒を見るのが大変。2～3人のフォローが限界。
- ・どちらが良いかの答えは無いのが正直な気持ち。
- ・昔は規律と秩序の文化が強かったが、現在は薄れつつある。
- ・入ってから育てるのか、完成された人に入ってもらおうのかで方針が変わる。
- ・教える型（仕組み）が確立できれば状況は変わるはず。

・今の時代は押し付けられない。誘導方法を工夫する必要がある。

■ クラブ文化継承について

- ・ルールはないが、これまでの風習を伝える人が少なくなっている。
- ・増えると名前を覚えるのも大変。

以上が、意見交換会において共有された主な内容

です。今後は、増強と同時に文化継承や育成体制の整備について検討を進めていくことが重要であると認識いたしました。（藤井）



フィリピン・セブ島の小学校へ通う子供たちへの国際奉仕活動

11月23日（日）～26日（水）（一部は25日）の日程で、フィリピン・セブ島の山間部（アルガオ地区）の小学校への文具品などの贈呈式に、清水幹事、森田会長エレクト、川口元会長、久保会員、米澤会員、松田会員、河内会員、田中会員、山岸会員、内園会員、私福田の11名で行ってまいりました。また今回は当クラブ50周年記念事業として、Linut-od小学校にTVモニターを2台寄贈いたしました。24日（月）早朝にセブシティを出発、アルガオ地区の3校に訪問しました。大阪難波RCのシールを貼った文具品、そして岡西元会長がご用意くださったお菓子の袋詰めを、子供たちに一人一人手渡しで渡しました。今回残念ながら参加が叶わなかった立花会長と岡西元会長からお心遣いを頂戴いたしまして誠にありがとうございました。ご参加の皆さま、遠路お疲れさまでした。 文責：福田 忠

【訪問した小学校】

- ◆Linut-od（リノットオド）小学校〈児童数 117人〉
- ◆Butong（ボトン）小学校〈児童数201人〉
- ◆Nug-as（ノグアス）小学校〈児童数 156人〉



ボトン小学校



リノットオド小学校



ノグアス小学校



寄贈しましたテレビモニター2台



吉田様

